

第3期総合戦略に係る基本目標・KPIの達成状況一覧

資料 4

■ 基本目標

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	進捗状況	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
1	若者・女性の雇用の場を創出(累計)	人	—	—	R5～R7年度	4,406	8,000人	55.1%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
2	転出超過の大幅減	人	R4年	▲2,807	R7年	▲4,907	▲1,000	-116.2%	★	若年層を中心とする東京圏をはじめとした都市部への人口流入の加速などにより、転出超過が拡大している。
3	合計特殊出生率の向上	人	R4年	1.47	R7年	1.32	1.7	-65.2%	★	未婚化、晩婚化、晩産化、経済的要因、子育て環境などの様々な要因により、目標値を大きく下回っている。
4	元気生活圏づくり地域数	地域	R4年度	71	R7年度	90	106	54.3%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
5	未来まちづくり市町数	市町	R4年度	2	R7年度	11	13	81.8%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。

■ 重要業績評価指標 (KPI)

KPIの達成状況 [全152指標] (合計)	★5 19	★4 40	★3 40	★2 23	★1 26	未公表 4	計画以上(★3以上)の進捗の割合(%) 66.9 %
---------------------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-------------------------------

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
政策の基本目標 I		産業振興による雇用の創出								
施策の柱 1		デジタル技術による新たなビジネスの創出								
1	先導的プロジェクトによる未来技術導入件数	件	R2～4年度	18	R5～R7年度	16	25	64.0%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
再	企業誘致件数	件	R4年	40	R5～ R7年度	77	125	61.6%	★★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。
再	光ファイバの世帯カバー率	%	R4年度	98.41	R5年度	97.65	100	—	★★★★ (再掲)	R5年度に国が推計方法を見直したため、基準値との単純比較ができなくなったが、平均年度分を上回り、順調に推移してきた。新推計方法においても本県のカバー率は全国値を上回っており、全国的に見て整備が遅れている状況にない。
再	5G人口カバー率	%	R4年度	94.1	R6年度	97.4	98	84.6%	★★★★★ (再掲)	計画を上回る進捗となっている
2	中小企業のIoT導入率	%	R4年度	22.2	R7年度	28.4	29	91.2%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
再	農林漁業でのデジタル技術を活用した社会実装件数	件	R4年度	4	R5～ R7年度	23	30	76.7%	★★★★★ (再掲)	計画を上回る進捗となっている。
再	県内企業等に対する技術流出防止意識の浸透率	%	—	—	R7年度	98.6	100	98.6%	★★★★★ (再掲)	計画を上回る進捗となっている。
3	衛星データを活用したソリューション開発件数(累計)	件	R1～4 年度	25	R7年度	37	35	120.0%	★★★★★★	目標を達成。
4	航空機・宇宙機器産業での受注獲得金額	百万円	H30～ R4年度	499	R4～7 年度	1015	3,000	33.8%	★★	アフターコロナ期の機体生産量の落ち込みの影響等により計画を下回っている。
5	山口県航空宇宙クラスター新規商談件数	件	R4年度	25	R5～ R7年度	342	96	356.3%	★★★★★★	目標を達成。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
6	水中次世代モビリティ関連プロジェクト化件数(累計)	件	R4年度	1	R7年度	17	18	94.1%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
施策の柱 2		グリーン成長による経済と環境の好循環の創出								
7	コンビナート連携によるカーボンニュートラル関連事業のプロジェクト化件数	件	R4年度	2	R5～R7年度	5	6	83.3%	★★★★	各地域で具体的な取組の検討が進展しており、計画を上回る進捗となっている。
8	港湾脱炭素化推進計画の策定	港	—	—	R7年度	4	4	100.0%	★★★★★	目標を達成。
再	やまぐちグリーン農産物の販売・PRに取り組む店舗数	施設	—	—	R5～R7年度	93	100	93.0%	★★★★★ (再掲)	計画を上回る進捗となっている。
再	県産木材供給量	万 m ³	R4年度	33.4	R7年度	32.3	49.1	-7.0%	★ (再掲)	木材需要はあるものの、木材生産を担う労働力不足により、供給量は伸び悩んでいる。令和6年度から、林業従事者の確保・育成対策を拡充・強化して取り組んでいることから、この取組を継続するとともに、林業DXや機械化の推進により、県産木材供給量の増大に取り組んでいく。
再	新たな流通方法による首都圏等への販売実証取組数(累計)	件	—	—	R5～R7年度	8	2	400.0%	★★★★★ (再掲)	目標を達成。
再	J-クレジット(森林管理プロジェクト)の新規登録件数	件	—	—	R7年度	5	3	166.7%	★★★★★ (再掲)	目標を達成。
9	環境・エネルギー、水素、医療、バイオ関連分野の事業化件数(累計)	件	R4年度	137	R7年度	185	190	90.6%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
再	山口県認定リサイクル製品数(累計)	件	R4年度	509	R7年度	552	590	53.1%	★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
10	燃料電池自動車等の導入台数 (累計)	台	R4年度	38	R7年度	59	235	10.7%	★	燃料電池自動車の普及に向けては、水素ステーションの整備と両輪で進めていく必要があるが、整備等のコストが依然高いことなどから県内1か所のみの状況であるため、伸び悩んでいる。
施策の柱 3		雇用を生み出す産業力の強化								
11	企業誘致件数	件	R4年	40	R5～ R7年度	77	125	61.6%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
12	石炭・バイオマス共同輸送の実 施回数(5年間の累計)	回	H30～ R4年度	42	R5～ R7年度	51	70	72.9%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
13	国道・県道の整備完了延長(5年 間の累計)	km	—	—	R5～ R7年度	27.5	50	55.0%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
14	緩和する主要渋滞箇所数	箇所	R4年度	13	R7年度	18	20	90.0%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
15	県内企業等に対する技術流出 防止意識の浸透率	%	—	—	R7年度	98.6	100	98.6%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
施策の柱 4		地域の雇用を支える中堅・中小企業の応援								
16	地域経済牽引事業計画承認件 数	件	R4年度	18	R5～ R7年度	40	75	53.3%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
17	経営革新計画目標達成件数(累 計)	件	R4年度	401	R7年度	460	550	39.6%	★★	アフターコロナ期を含む事業計画であったため、目標達成が落ち込んでいる。
18	関係機関の支援による事業承継 診断件数	件	R4年度	1,195	R5～ R7年度	5,269	7,500	70.3%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
19	関係支援機関の支援による創業数(5年間の累計)	件	H30～ R4年度	1,088	R5～ R7年度	884	1,200	73.7%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
20	関係支援機関の支援による女性創業数(5年間の累計)	件	H30～ R4年度	416	R5～ R7年度	362	440	82.3%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
21	就職決定者数(山口しごとセンター登録者)	人	R4年度	3,367	R7年度	3,665	4,400	28.8%	★	継続的できめ細やかな支援により就職者数の増を図ったが、全国的な人手不足の中で、県外大手企業を中心に採用活動が活発化していることなどにより、計画を下回っている。
22	インターンシップ(就業体験)参加学生	人	R4年度	819	R7年度	843	900	29.6%	★	県外企業志向の高まりに加え、受入体制やマッチングの課題、低学年層の増加に伴うミスマッチ等により、参加者が減少している。企業への支援や学生向けイベントの開催など、今後も目標達成に向け取り組む。
再	高校生等の県内就職割合	%	R4年度	83.2	R6年度	80.8	90	-35.3%	★ (再掲)	就職希望者数が減少する中、民間企業・公務員を問わず県外に就職する生徒が一定数存在することや全国的な人材不足を背景とした県外大手企業による積極的な採用活動が影響している。
23	大学生等の県内就職割合(山口しごとセンター登録者)	%	R4年度	55.5	R7年度	45.3	60.8	-192.5%	★	全国的な人手不足の中で、県外大手企業を中心に採用活動が活発化していることなどにより、計画を下回っている。
再	山口県立大学の新規卒業者の県内就職割合	%	R4年度	44.6	R7年度	36.9	50%超	-142.6%	★ (再掲)	全国的な人手不足の影響から、県外の求人数が増加し、就職先の選択肢が広がったため、県内就職割合が低下した。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
24	県内に就職したい魅力のある企業があるとの若者の実感	%	R6年度	29.9	R8年度	37.4	増加させる	—	★★★	ほぼ目標どおり進捗している。
25	建設産業の技術者・技能者の若年者比率	%	R4年度	11.3	R6年度	11.3	14%以上	0.0%	★	少子化に伴う人材獲得競争の激化により、高校生等が県外の建設企業や他産業に就職する傾向が強まり、目標値を下回っている。今後は、担い手確保・育成と働き方改革をさらに推進し、若年者の入職促進を図る。
26	生産性向上・人材創造拠点のコーディネートによるリスキリング支援企業数(累計)	社	—	—	R7年度	70	60	116.7%	★★★★★	目標を達成。
27	県内企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチングの成約件数	件	R4年度	78	R7年度	69	100	-40.9%	★	人材マッチングを担う、山口県プロフェッショナル人材戦略拠点のコーディネーターに欠員が生じ目標値を下回った。令和8年度は、人員体制を強化し、目標達成に向け取り組む。
施策の柱 5		地域の新たな担い手の受け皿となる強い農林水産業の育成								
28	中核経営体数	経営体	R4年度	642	R7年度	670	722	35.0%	★★	農業経営体の再編(合併等)が進みつつあり、経営体数が増加しにくい状況にあるため、計画を下回る。
29	農林漁業新規就業者数 (うち県外からの新規就業者数)	人	R4年度	228 (32)	R5～ R7年度	634 (104)	1,100 (200)	57.6% (52.0%)	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
30	中核経営体の収益性向上の取組件数	件	—	—	R5～ R7年度	51	87	58.6%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
31	新規参入企業の件数	件	—	—	R5～ R7年度	22	7	314.3%	★★★★★	目標を達成。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
32	やまぐち農林漁業ステキ女子数	人	R4年度	43	R7年度	92	86	114.0%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
33	農業における外部人材活用人数	人	—	—	R7年度	5,122	2,400	213.4%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
34	地産・地消推進拠点の新規設置数	施設	—	—	R7年度	133	100	133.0%	★★★★★	目標を達成。
再	ぶちうま産直市場の販売額	千円	R4年度	6,009	R7年度	5,915	23,000	-0.6%	★ (再掲)	航空便の即日配送が再開されなかったこと、他のECサイトとの競争激化等によって常連客の利用頻度が低下したことから、計画を下回った。販売促進の強化により、需要の掘り起こしを進めており、中期的には売上の回復が期待される。
35	やまぐちグリーン農産物の販売・PRに取り組む店舗数	施設	—	—	R5～R7年度	93	100	93.0%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
再	新たな流通方法による首都圏等への販売実証取組数(累計)	件	—	—	R5～R7年度	8	2	400.0%	★★★★★ (再掲)	目標を達成。
再	県版エクスポーターによる県産農林水産物等の輸出額	千円	R4年度	326,676	R7年度	696,777	850,000	70.7%	★★★★ (再掲)	計画を上回る進捗となっている。
36	戦略作物の作付面積 (うち飼料用作物の作付面積)	ha	R4年度	6,652 (2,776)	R6年度	6,473 (2,477)	7,450 (3,113)	-22.4% (-88.7%)	★	戦略作物のうち、麦、WCS用稲、加工用米については面積が増加しているものの、飼料用作物は他作物との競合により作付面積が減少しているため。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
37	県産木材供給量	万 m ³	R4年度	33.4	R7年度	32.3	49.1	-7.0%	★	木材需要はあるものの、木材生産を担う労働力不足により、供給量は伸び悩んでいる。令和6年度から、林業従事者の確保・育成対策を拡充・強化して取り組んでいることから、この取組を継続するとともに、林業DXや機械化の推進により、県産木材供給量の増大に取り組んでいく。
38	森林バイオマス利用量	千t	R4年度	70.8	R7年度	100.3	94.0	127.2%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
39	J-クレジット(森林管理プロジェクト)の新規登録件数	件	—	—	R7年度	5	3	166.7%	★★★★★★	目標を達成。
40	基幹漁業及び養殖業の新興件数(うち やまぐち型養殖業の新興件数)	件	R4年度	2 (2)	R7年度	5 (5)	5 (5)	100.0% (100.0%)	★★★★★★	目標を達成。
41	国際水準GAPの認証件数	件	R4年度	43	R7年度	46	52	33.3%	★★	令和7年度2件の認証実績はあったものの、依然として、農家の高齢化や担い手不足が課題であり、計画を下回る。
42	有機農業面積	ha	R3年度	131	R6年度	227	173	228.6%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
43	再造林率(5年間の平均)	%	H30～ R4年度 平均	35.8	R5～7 年度平 均	42.8	50%以上	49.3%	★★	国産材価格の低迷や造林・保育経費のコスト増加により、森林所有者の経営意欲が減退し、再造林面積が減少したため。
44	エリートツリーコンテナ苗による再造林	ha	—	—	R7年度	52	10	520.0%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
45	農林漁業でのデジタル技術を活用した社会実装件数	件	R4年度	4	R5～ R7年度	23	30	76.7%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
46	開発した技術の導入による雇用 人数の増加	人	—	—	R5～ R7年度	11	10	110.0%	★★★★★	目標を達成。
47	漁港施設を有効活用した藻場造 成箇所	箇所	—	—	R7年度	4	7	57.1%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
48	新たにクレジット制度を活用する 藻場面積	ha	—	—	R7年度	36.6	36.4	100.5%	★★★★★	目標を達成。
49	鳥獣による農林業被害額	億円	R4年度	3.7	R7年度	3.3	3.0	57.1%	★★★	ほぼ計画どおりに進んでいるが、 基準年に比べ農作物の単価が高騰しており、若干進捗が鈍化している。
施策の柱 6		幅広い産業・地域を活性化させる観光の振興								
50	観光客数(年間)	万人	R4年	2,663	R7年	3,342	3,700	65.5%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
51	延べ宿泊者数(年間)	万人	R4年	392	R7年	372	550	-12.7%	★	R4観光需要喚起策終了によりR4 年比で減少しているが、外国人 延べ宿泊者数は増加傾向にある。
52	観光消費額(年間)	億円	R4年	1,216	R7年	1,926	1,600	184.9%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
再	キャンプ場利用者数(年間)	万人	R4年度	46	R7年度	46	48	0.0%	★ (再掲)	猛暑の影響により夏季の利用者 数が減少したものの、前年と同水 準を維持している。
再	県立美術館の入館者数(5年間 の平均)	万人	R4年度	15.4	R5～7 年度平 均	18.1	20万人以上	54.2%	★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。
53	外国人延べ宿泊者数(年間)	万人	R4年	4.9	R7年	16.2	20	74.8%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
54	クルーズ船寄港回数	回	R1～4 年平均	17	R5～7 年平均	31.7	50回以上	38.0%	★★★	外国クルーズ船寄港数は、コロナ禍前の水準まで回復するのに時間を要したこと等により、実績値が計画値を下回っているものの、回数は増加傾向にあり、令和8年単年では目標値を超える見込みである。
再	山口宇部空港の国際便(チャーター便を含む)の年間利用者数	万人	R4年度	0	R7年度	0.7	2	35.0%	★★ (再掲)	定期便に向けてチャーター便運航回数は年々増加している。
施策の柱 7		国内外の新たな市場獲得の促進								
55	ぶちうま産直市場の販売額	千円	R4年度	6,009	R7年度	5,915	23,000	-0.6%	★	航空便の即日配送が再開されなかったこと、他のECサイトとの競争激化等によって常連客の利用頻度が低下したことから、計画を下回った。販売促進の強化により、需要の掘り起こしを進めており、中期的には売上の回復が期待される。
56	県公式 SNSのフォロワー数	人	R4年度	14,798	R7年度	75,304	60,000	133.9%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
57	新たな流通方法による首都圏等への販売実証取組数(累計)	件	—	—	R5～ R7年度	8	2	400.0%	★★★★★	目標を達成。
58	中小企業の海外展開成約件数(5年間の累計)	件	H30～ R3年度	56	R5～ R7年度	79	100	79.0%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
59	県版エキスポーターによる県産農林水産物等の輸出額	千円	R4年度	326,676	R7年度	696,777	850,000	70.7%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。

No.	指 標 名		単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
				a		b		c	(b-a)/(c-a)		
政策の基本目標 II			次代を担う人材の育成と新たな人の流れの創出・拡大								
施策の柱 8			新たな時代の人づくりの推進								
60	県主催の保育者対象の研修会等において研修の目標が達成できた参加者の割合		%	R4年度	71.3	R7年度	62.7	100	-30.0%	★	人材不足による研修機会の確保が困難な状況になると共に、保育に対する考え方の多様化により、研修への参加意欲は減少傾向にある。今後は、更に現場のニーズや今日的課題に沿った研修内容とするなど、さらなる工夫を加えながら、計画・開催していく。
61	学校・地域・企業等が連携した協働的な学習活動を計画的・組織的に実施している学校の割合（公立小・中・高・総合支援学校等）		%	R4年度	0.6	R7年度	33.8	80.0	41.8%	★★	高等学校等においては計画的・組織的な実施のためのツールを全ての学校に導入したことにより実施率が向上したものの、小・中学校においては伸び悩んでいる。今後は、指定校事業等を通して更なる推進を図る。
62	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合（公立小・中学校）	小	%	R4年度	54.4	R7年度	64.7	70.0	66.0%	★★	コロナ禍による地域とのつながりの希薄化により地域への帰属意識が低下したものの、その後は上昇傾向にあるが、中学生段階では伸び悩んでいる。今後は、さらなるふるさとへの誇りと愛着の醸成に向け、各学校段階における地域と連携・協働した取組の一層の充実を図る。
		中	%	R4年度	46.4	R7年度	50.5	70.0	17.4%		
再	大学等が実施するPBL取組件数		件	R1～4年度	203	R5～R7年度	166	330	50.3%	★★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。

No.	指 標 名		単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
				a		b		c	(b-a)/(c-a)		
63	学習者用端末を活用した学習活動に、情報活用能力の向上に効果があると感じている生徒の割合(特別支援学校を除く県立学校)		%	R4年度	87.1	R7年度	91.1	95.0	50.6%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
64	全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差(公立小・中学校)	小国(全国)	%	R4年度	65.0 (65.6)	R7年度	68.0 (66.8)	全国平均を3ポイント上回る	-	★	市町および学校ごとの状況に対応した取組により一定の成果はあるものの、学力の二極化が見られることが要因の一つと考えられる。引き続き各学校での学び直しの充実や、めざす子どもの姿を意識した授業づくりなど、授業改善の推進に取り組む。
		小算(全国)	%	R4年度	63.0 (63.2)	R7年度	58.0 (58.0)				
		中国(全国)	%	R4年度	70.0 (69.0)	R7年度	55.0 (54.3)				
		中数(全国)	%	R4年度	58.0 (51.4)	R7年度	48.0 (48.3)				
65	主体的に新たな時代の人づくりに取り組む団体数		団体	R4年度	84	R7年度	127	130	93.5%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
66	いじめの解消率(公立小・中・高等学校、総合支援学校)		%	R4年度	92.4	R6年度	96.2	100	50.0%	★★★	いじめが複雑化・多様化する中、学校においては安易に「解消」と判断せず、継続して子どもたちを見守っているケースが増加している。
67	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の県平均点(公立小・中学校)	小5男(全国)	点	R4年度	50.5 (52.3)	R7年度	53.0 (53.0)	全国平均を上回る	-	★★★★★	全ての調査対象で基準値(R4年度)を上回った。また、小5女子、中2男・女においては、全国平均を上回る結果であった
		小5女(全国)	点	R4年度	52.9 (54.3)	R7年度	54.3 (54.0)				
		中2男(全国)	点	R4年度	39.8 (40.9)	R7年度	42.3 (42.1)				
		中2女(全国)	点	R4年度	47.2 (47.3)	R7年度	48.2 (47.5)				

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
施策の柱 9		若者や女性のやまぐちへの定着促進								
68	大学等が実施するPBL取組件数	件	R1～4 年度	203	R5～ R7年度	166	330	50.3%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
再	就職決定者数(山口しごとセンター登録者)	人	R4年度	3,367	R7年度	3,665	4,400	28.8%	★ (再掲)	継続的できめ細やかな支援により就職者数の増を図ったが、全国的な人手不足の中で、県外大手企業を中心に採用活動が活発化していることなどにより、計画を下回っている。
再	インターンシップ(就業体験)参加学生	人	R4年度	819	R7年度	843	900	29.6%	★ (再掲)	県外企業志向の高まりに加え、受入体制やマッチングの課題、低学年層の増加に伴うミスマッチ等により、参加者が減少している。企業への支援や学生向けイベントの開催など、今後も目標達成に向け取り組む。
69	高校生等の県内就職割合	%	R4年度	83.2	R6年度	80.8	90	-35.3%	★	就職希望者数が減少する中、民間企業・公務員を問わず県外に就職する生徒が一定数存在することや全国的な人材不足を背景とした県外大手企業による積極的な採用活動が影響している。
再	大学生等の県内就職割合(山口しごとセンター登録者)	%	R4年度	55.5	R7年度	45.3	60.8	-192.5%	★ (再掲)	全国的な人手不足の中で、県外大手企業を中心に採用活動が活発化していることなどにより、計画を下回っている。
70	山口県立大学の新規卒業者の県内就職割合	%	R4年度	44.6	R7年度	36.9	50%超	-142.6%	★	全国的な人手不足の影響から、県外の求人数が増加し、就職先の選択肢が広がったため、県内就職割合が低下した。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
再	県内に就職したい魅力のある企業があるとの若者の実感	%	R6年度	29.9	R7年度	37.4	増加させる	—	★★★ (再掲)	ほぼ目標どおり進捗している。
再	職場のワーク・ライフ・バランスが重視されていると感じる子育て世代の割合	%	R6年度	51.2	R7年度	49.0	増加させる	—	★★ (再掲)	人手不足による業務負担の増加などが影響しているものと推測される。
再	テレワーク導入企業の割合	%	R2年度	14.6	R5年度	16.3	32.5	9.5%	★ (再掲)	コロナ禍収束による職場への出社の動きが影響しているものと推測される。
71	25歳から44歳までの働く女性の割合	%	R4年度	80.8	R7年度	—	86.0	—	未公表	令和7年の調査結果が令和9年度中に公表される予定。
再	やまぐち女性の活躍推進事業者数(累計)	事業者	R4年度	238	R7年度	355	355	100.0%	★★★★★ (再掲)	目標を達成。
再	男性の育児休業取得率	%	R4年度	31.0	—	—	64.0	—	未公表 (再掲)	令和8年の調査結果が令和8年度中に公表される予定。
再	山口県の男性職員(教育・警察除く)の2週間以上の育児休業取得率	%	R4年度	26.8	R7年度	100.0	100	100.0%	★★★★★ (再掲)	計画を上回る進捗となっている。
施策の柱 10		新たな人の流れの創出・拡大								
72	転入者アンケート等による「YY!ターン」実績数(移住者数)	人	R4年度	3,655	R5～R7年度	13,641	25,000	54.6%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
73	テレワーク移住者数	人	R4年度	44	R5～R7年度	300	250	120.0%	★★★★★	目標を達成。
74	県のテレワーク・ワーケーション拠点施設における県外からの利用者数(累計)	人	R4年度	4,883	R7年度	16,495	23,500	62.4%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
75	「やまぐち創生テレワーク」ネットワーク加入施設数(累計)	施設	R4年度	26	R7年度	33	46	35.0%	★★	民間企業の出社回帰の流れもあり、一部施設の廃止が進んだため。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
76	県外人材(大学生含む)の県内就職者数(山口しごとセンター登録者)(累計)	人	R4年度	216	R7年度	739	1,200	61.6%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
再	県内企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチングの成約件数	件	R4年度	78	R7年度	69	100	-40.9%	★ (再掲)	人材マッチングを担う、山口県プロフェッショナル人材戦略拠点のコーディネーターに欠員が生じ目標値を下回った。令和8年度は、人員体制を強化し、目標達成に向け取り組む。
再	農林漁業新規就業者数(うち県外からの新規就業者数)	人	R4年度	228 (32)	R5～ R7年度	634 (104)	1,100 (200)	57.6% (52.0%)	★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。
77	県外からの移住創業件数(5年間の累計)	件	H30～ R4年度	25	R5～ R7年度	40	25	160.0%	★★★★★	目標を達成。
再	企業誘致件数	件	R4年	40	R5～ R7年度	77	125	61.6%	★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。
78	山口つながる案内所の登録者数(累計)	人	R4年度	870	R7年度	2,130	2,420	81.3%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
79	県外在住者からのふるさと納税寄附件数	件	R4年度	3,284	R7年度	1,482	5,000	-105.0%	★	新型コロナウイルス対策全般を用途とする寄附件数の減及び厳格化していく総務省の返礼品地場産品基準への対応等に伴う返礼品取り下げによる寄附件数の減のため。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
政策の基本目標 Ⅲ		結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える環境の整備								
施策の柱 11		結婚の希望を叶える環境づくり								
80	やまぐち結婚応援センターの引き合わせ実施件数(累計)	件	R4年度	8,689	R7年度	10,761	15,000	32.8%	★★	コロナ禍の影響等で結婚応援センターの会員数が減少したことに伴い、引き合わせ実施件数も伸び悩んだが、R6以降は会員数が回復傾向にあり、指標の数字も改善が見られる。
81	結婚の希望を叶える取組が充実しているとの若者の実感	%	R6年度	11.4	R8年度	19.4	増加させる	—	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
施策の柱 12		子どもを持つ希望を叶える環境づくり								
82	やまぐち子育てAIコンシェルジュの利用者数	件	R4年度	8,254	R7年度	12,369	20,000	35.0%	★★	出生数の減少に伴い、新たに利用が見込まれる「新生児を持つ家庭」の数が減少したこと等により、計画を下回っているため。
83	こども家庭センター設置市町数	市町	—	—	R7年度	18	19	94.7%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
84	保育所等利用待機児童数	人	R4年度	14	R7年度	9	0	35.7%	★★	特定地域や特定年齢の保育ニーズの増加が利用定員を上回ったため待機児童数が発生していることにより、計画を下回っているため。
85	放課後児童クラブ待機児童数	人	R4年度	510	R7年度	292	0	42.7%	★★	共働き家庭の増加等により、各自治体の計画における定員の確保量以上に申込者数が増加したため、計画を下回っている。
86	医療的ケア児の受入可能な短期入所施設	施設	R4年度	7	R7年度	16	16	100.0%	★★★★★	目標を達成。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
87	安心して子どもを産み育てることが できる環境づくりが進んでいる との子育て世代の実感	%	R6年度	38.8	R8年度	42.7	増加させる	—	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
88	やまぐち三世同居・近居パス ポート発行件数(累計)	件	R4年度	599	R7年度	794	1,000	48.6%	★★	住宅の建設戸数が減少する中で、申請対象者へのアプローチが課題であり、計画を下回る進捗となっている。今後は、普及啓発活動の強化や協賛企業数の拡大により、発行件数の増加を図る。
89	里親委託率	%	R4年度	20.5	R7年度	24.4	40.3	19.7%	★	実親の同意の問題や、発達障害等児童が抱える問題の複雑化による委託困難ケースの増加などにより新規委託件数が想定を下回っている。
90	「こども食堂」箇所数	箇所	R4年度	165	R7年度	215	210	111.1%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
施策の柱 13		ワーク・ライフ・バランスを実現する働き方改革の推進								
再	就職決定者数(山口しごとセンター登録者)	人	R4年度	3,367	R7年度	3,665	4,400	28.8%	★ (再掲)	継続的できめ細やかな支援により就職者数の増を図ったが、全国的な人手不足の中で、県外大手企業を中心に採用活動が活発化していることなどにより、計画を下回っている。
91	職場のワーク・ライフ・バランスが重視されていると感じる子育て世代の割合	%	R6年度	51.2	R8年度	49, 0	増加させる	—	★★	人手不足による業務負担の増加などが影響しているものと推測される。
92	テレワーク導入企業の割合	%	R2年度	14.6	R5年度	16.3	32.5	9.5%	★	コロナ禍収束による職場への出社の動きが影響しているものと推測される。
93	民間企業の年次有給休暇取得率	%	R4年	67.6	—	—	70.6	—	未公表	令和8年の調査結果が令和8年度中に公表される予定。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
94	山口県の男性職員(教育・警察除く)の2週間以上の育児休業取得率	%	R4年度	26.8	R7年度	100.0	100	100.0%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
95	男性の育児休業取得率	%	R4年度	31.0	—	—	64.0	—	未公表	令和8年の調査結果が令和8年度中に公表される予定。
再	25歳から44歳までの働く女性の割合	%	R4年度	80.8	R7年度	—	86.0	—	未公表 (再掲)	令和7年の調査結果が令和9年度中に公表される予定。
96	年間総実労働時間(5人以上事業所)	時間	R4年	1,676	R7年度	1,632	1,630	95.7%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
政策の基本目標 IV		時代に対応した持続可能な地域社会の形成								
施策の柱 14		デジタルの力を活用した豊かな社会づくり								
97	Y-BASEにおける課題解決件数	件	R4年度	101	R5～ R7年度	433	500	86.6%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
98	オンライン利用率(県関係手続)	%	R4年度	31.6	R7年度	50.4	50%超	102.2%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
99	光ファイバの世帯カバー率	%	R4年度	98.41	R5年度	97.65	100	—	★★★	R5年度に国が推計方法を見直したため、基準値との単純比較ができなくなったが、平均年度分を上回り、順調に推移してきた。新推計方法においても本県のカバー率は全国値を上回っており、全国的に見て整備が遅れている状況にない。
100	5G人口カバー率	%	R4年度	94.1	R6年度	97.4	98	84.6%	★★★★	計画を上回る進捗となっている
101	デジタル技術を活用できるリーダー人材の育成人数	人	R4年度	146	R5～ R7年度	394	570	69.1%	★★★	計画を上回る進捗となっている。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
施策の柱 15		交流拠点の整備や未来のまちづくりによる活力の創出								
102	山口きらら博記念公園年間利用者数	千人	R4年度	290	R7年度	876	1,000	82.5%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
103	立地適正化計画に防災の観点を取り入れた市町の数	市町	R4年度	1	R7年度	9	11	80.0%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
104	通学路合同点検に基づく交通安全対策完了率	%	R4年度	75	R7年度	96.8	100	87.2%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
再	国道・県道の整備完了延長(5年間の累計)	km	—	—	R5～R7年度	27.5	50	55.0%	★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。
再	緩和する主要渋滞箇所数	箇所	R4年度	13	R7年度	18	20	90.0%	★★★★★ (再掲)	計画を上回る進捗となっている。
105	港のにぎわい拠点の整備完了箇所数(累計)	箇所	R4年度	2	R7年度	4	5	66.7%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
106	山口宇部空港の国内定期便の年間利用者数	万人	R4年度	68.9	R7年度	85.6	100	53.7%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
107	山口宇部空港の国際便(チャーター便を含む)の年間利用者数	万人	R4年度	0	R7年度	0.7	2	35.0%	★★	定期便に向けてチャーター便運航回数は年々増加している。
108	岩国錦帯橋空港の国内定期便の年間利用者数	万人	R4年度	36.2	R7年度	55.1	52	119.6%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
再	新たなモビリティサービスの導入件数(累計)	件	—	—	R7年度	3	10	30.0%	★★ (再掲)	本格導入数は未達成であるものの、現在も6市1町で導入に向けた実証実験等が実施されており、今後本格導入が見込まれる。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
109	キャンプ場利用者数(年間)	万人	R4年度	46	R7年度	46	48	0.0%	★	猛暑の影響により夏季の利用者数が減少したものの、前年と同水準を維持している。
110	県立美術館の入館者数(5年間の平均)	万人	H30～R4年度平均	15.4	R5～7年度平均	18.1	20万人以上	54.2%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
111	文化人材バンク登録者の発表機会の創出件数	件	R4年度	10	R7年度	23	35	52.0%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
112	県立スポーツ施設の年間利用者数	千人	R4年度	999	R7年度	1740	2,000	74.0%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
施策の柱 16		活力ある中山間地域づくりの推進								
113	やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数(累計)	地域	R4年度	71	R7年度	90	106	54.3%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
114	地域経営を担う法人組織の設立件数(累計)	件	R4年度	2	R7年度	3	7	20.0%	★	市町と連携し専門家による伴走支援等を実施しているものの、取組が計画どおり進んでおらず計画を下回っている。
115	農山漁村交流滞在人口	万人	R4年度	15.1	R5～R7年度	43.0	70	61.4%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
施策の柱 17		安心して快適に暮らせる地域づくり								
116	県内の専門研修プログラム新規登録者数(5年間の合計人数)	人	H30～R4年度	279	R5～R7年度	191	300	63.7%	★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
117	訪問診療を行う診療所・病院数	箇所	R4年度	298	R7年度	304	316	33.3%	★★	新規参入がある中で、医師の高齢化等に伴う減少があったため、進捗が遅れている。

No.	指 標 名			単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
					a		b		c	(b-a)/(c-a)		
118	認定薬局(知事が認定した特定の機能を有する薬局)の数			箇所	R4年度	26	R7年度	36	80	18.5%	★	医療機関との連携や在宅・情報連携の業務を担う人材の確保が課題であり、そのための連携に係る研修会を開催したが、認定薬局数は徐々に増加はしているもの思うような増加に繋がらなかった。
119	住民が主体的に介護予防に資する活動を行う「通いの場」への参加率			%	R3年度	5.3	R6年度	5.9	8.0%以上	22.2%	★	市町ごとの取組に濃淡があり、コロナ禍の影響による参加率の減少から全体としてコロナ禍前の値(6.0)まで回復していない。
120	県福祉人材センターの有効求職登録者数(年間の月平均)			人	R4年度	339	R7年度	339	368	0.0%	★	関係機関と連携した福祉・介護職の魅力発信や、就職フェア・相談会等の機会を通じた福祉人材センターの周知・利用促進に努めたが、結果として十分な増加には繋がらなかった。
121	健康寿命	日常生活に制限のない期間の平均	男性	年	R元年	73.31	R4年	72.01	延伸させる	—	★★★★	[日常生活に制限のない期間の平均]について、2022年は、女性は延伸しているが、男性は短縮しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられる。[日常生活動作が自立している期間の平均]について、2024年度は、延伸とはなっていないが、期間全体としては、横ばいとなっている。
			女性	年	R元年	75.33	R4年	76.43	延伸させる	—		
		日常生活動作が自立している期間の平均	男性	年	R2年度	79.86	R6年度	79.61	延伸させる	—		
			女性	年	R2年度	84.45	R6年度	84.24	延伸させる	—		
122	特定健康診査実施率			%	R3年度	50.6	R6年度	55.6	70	25.8%	★★	被保険者向けの健診は目標を上回っているが、被扶養者向けの健診で目標を下回っている。

No.	指 標 名			単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
					a		b		c	(b-a)/(c-a)		
123	市町、職域等を含むがん検診受診率	過去2年間に胃がん検診を受診した者の割合(対象:50～69歳)	男性	%	R4年度	51.5	R7年度	52.5	全ての部位で60%以上	14.1%	★	全ての部位のがん検診受診率は基準年に比べ上昇しているものの、目標達成ペースに届いていない。 発信の強化や、休日・平日夜間のがん検診実施体制の確保などに取り組んでいる。
			女性	%	R4年度	36.2	R7年度	37.7				
		過去1年間に肺がん検診を受診した者の割合(対象:40～69歳)	男性	%	R4年度	51.6	R7年度	52.2				
			女性	%	R4年度	39.0	R7年度	43.1				
		過去1年間に大腸がん検診を受診した者の割合(対象:40～69歳)	男性	%	R4年度	43.5	R7年度	46.0				
			女性	%	R4年度	33.0	R7年度	34.3				
		過去2年間に子宮頸がん検診を受診した者の割合(対象:20～69歳)	女性	%	R4年度	34.9	R7年度	39.6				
		過去2年間に乳がん検診を受診した者の割合(対象:40～69歳)	女性	%	R4年度	34.8	R7年度	42.3				
124	山口県健康エキスパート薬剤師数			人	R4年度	255	R7年度	443	600	54.5%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
125	新たなモビリティサービスの導入件数(累計)			件	—	—	R7年度	3	10	30.0%	★★	本格導入数は未達成であるものの、現在も6市1町で導入に向けた実証実験等が実施されており、今後本格導入が見込まれる。
126	再生可能エネルギーの発電出力			万kW	R3年度	178	R7年度	258	259	98.8%	★★★★	計画を上回る進捗となっている。
127	山口県認定リサイクル製品数(累計)			件	R4年度	509	R7年度	552	590	53.1%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
128	犬猫の引取り数	頭	R4年度	609	R7年度	410	減少させる	—	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
129	消費者安全確保地域協議会の設置市町数	市町	R4年度	13	R7年度	13	19	0.0%	★	未設置の6町は人的資源に乏しく兼務が多いという構造的事情を抱えており、令和7年度中の設置はなかった。今後、県域の協議会での先進自治体の取組紹介や町の負担を軽減する方策を検討することにより、設置の促進を図る。
130	うそ電話詐欺の被害件数(年間)	件	R4年	107	R7年	162	減少させる	—	★★	捜査機関(警察官、検察官等)を騙り、被害者に犯罪の嫌疑があると申し向け、捜査名目として金銭を要求する手口の急増により被害が増加した。
131	交通事故重傷者数(年間)	人	R4年	380	R7年	428	減少させる	—	★★	歩行者被害の事故の増加に伴い、重傷者数が増加した。
再	通学路合同点検に基づく交通安全対策完了率	%	R4年度	75	R7年度	96.8	100	87.2%	★★★★★ (再掲)	計画を上回る進捗となっている。
132	サイバー空間の違法有害情報に対する無害化措置件数	件	R4年	289	R7年	918	500	298.1%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
133	指定避難所における「避難所運営の手引き」作成数(累計)	箇所	R3年度	131	R7年度	209	400箇所以上	29.0%	★★	市町で取組を進めており、毎年成果数は増加しているものの、住民や施設管理者との協議が進まなかった地域も多い。
134	防災重点農業用ため池の整備箇所数(累計)	箇所	R4年度	1,733	R7年度	1,844	1,903	65.3%	★★★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
135	洪水浸水想定区域の指定河川数(累計)	河川	R4年度	67	R7年度	474	350	143.8%	★★★★★★	目標を達成。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
136	高潮浸水想定区域の指定カバー率	%	R4年度	71	R7年度	100	100	100.0%	★★★★★	目標を達成。
再	国道・県道の整備完了延長(5年間の累計)	km	—	—	R5～R7年度	27.5	50	55.0%	★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。
137	橋梁の耐震補強実施数(累計)	橋	R4年度	129	R7年度	134	165	13.9%	★★★	計画的に工事を実施しており、目標達成に向け進捗している。
138	住宅の耐震化率	%	H30年度	81.2	R7年度	86.1	90%以上	55.7%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
139	耐震診断義務付け対象建築物の耐震化率	%	R3年度	72.1	R7年度	78.9	耐震性が不十分な建築物を概ね解消	—	★★★	対象建築物の耐震改修等により、耐震化が進んでいる。
140	橋梁の長寿命化計画に基づく修繕実施数(累計)	橋	R4年度	521	R7年度	680	625	152.9%	★★★★★	目標を達成。
施策の柱 18		誰もが活躍できる地域社会の実現								
再	山口きらら博記念公園年間利用者数	千人	R4年度	290	R7年度	876	1,000	82.5%	★★★ (再掲)	ほぼ計画どおり進捗している。
141	「あいかさねっと」等を通じたボランティア活動マッチング数(5年間の累計)	人	H30～R4年度	1,610	R7年度	1,372	1,700	80.7%	★★★★★	計画を上回る進捗となっている。
142	若年層の参加割合が3割以上を占める県民活動団体の割合	%	R4年度	13.2	R7年度	8.5	増加させる	—	★★	県民活動をしたことがある若年層の割合は増加しているものの、県民活動団体の若年層割合は減少しており、継続的・主体的な活動への参加に十分につながっていない。大学生と団体による地域課題の解決活動を支援するなど、引き続き参加促進を図る。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
143	プロボノワーカーバンクの登録者数(累計)	人	—	—	R7年度	146	125	116.8%	★★★★★	目標を達成。
144	やまぐち女性の活躍推進事業者数(累計)	事業者	R4年度	238	R7年度	355	355	100.0%	★★★★★	目標を達成。
再	25歳から44歳までの働く女性の割合	%	R4年度	80.8	R7年度	—	86.0	—	未公表 (再掲)	令和7年の調査結果が令和9年度中に公表される予定。
145	男女の地位の平等感(社会全体として)	%	R元年度	17.9	R6年度	18.0	増加させる	—	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
146	65歳から69歳までの働く男女の割合	%	R4年度	51.0	R7年度	—	59.8	—	未公表	令和7年の調査結果が令和9年度中に公表される予定。
147	地域の支援ニーズとのマッチング会議への参加老人クラブ数(累計)	クラブ	R4年度	85	R7年度	256	330	69.8%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
148	民間企業における障害者実雇用率	%	R4年	2.68	R7年	2.71	3	9.4%	★	令和7年4月に障害者雇用の除外率が引き下げられ、障害者雇用の軽減措置が縮小したことが影響しているものと推測される。
149	若年あいサポーターの養成数(累計)	人	R4年度	13,934	R7年度	19,946	30,000	37.4%	★★	授業の調整が必要であり目標値より下回っているものの、主に働きかけをしている小中学校等を中心に授業等で活用され増加傾向にある。

No.	指 標 名	単位	基準値		実績値		目標値(R9)	目標進捗率	評価	評価理由
			a		b		c	(b-a)/(c-a)		
150	多文化共生を重要と考える県民の割合	%	R4年度	40.4	R7年度	41.6	50.0	12.5%	★	引き続き多文化共生の意識啓発や相互理解の促進に努める。
151	外国人材雇用アドバイザー相談件数	件	R1～4年度	163	R5～R7年度	163	250	65.2%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。
施策の柱 19		地域連携による経済・生活圏の形成								
152	地方創生に係る交付金を活用した新規広域連携事業数(累計)	事業	R4年度	13	R7年度	16	18	60.0%	★★★	ほぼ計画どおり進捗している。